

平成 25 年度 第 4 回中部地区レフリー初心者講習会 実施報告書

- 1、日時：平成 26 年 2 月 15 日（土）
- 2、場所：倉吉市立西中学校 体育館
- 3、参加人数：27 名（日本公認審判員 8 名含む）
- 4、講師：甲斐 清 氏
- 5、内容

8：30～9：00 講義講習

トラベリング・ファウルの見極めについて
触れ合いの事実・責任・影響
スペースウォッチングの重要性
など

9：00～15：30 ゲームを使った実技講習

・実際のゲームの中で審判をする







6、参加者の声

鳥取中央育英高校 大塚 智史さん

最初の講義では、倉吉東高校の甲斐先生にファウルを吹くときの基準についての話をさせていただきました。ファウルが起こるということは必ずそこには接触の『事実』があるということ。ただ、接触があればその全てがファウルになるというわけではなく、その接触が起こったことについての『責任』はどこにあるのかということ。また、その接触によって、プレーにどのような『影響』があるのかということ。その『事実』や『責任』、『影響』をファウルかそうでないかの判断の基準とするので、そのためにも、オフェンスとディフェンスの間のスペースを見るためにしっかりと足を運ぶことを大事にしましょうというお話でした。

講義が終わると、実際のゲームの中で審判を体験させていただきました。ゲーム中もところどころで多くのアドバイスをいただき、ときには後ろで一緒に走りながら教えてもらったりしていただきました。自分が吹いていないときも、ゲームを見ながら解説をしていただいたりして大変勉強になりました。

また、こういう場で自分が審判を経験させてもらった後に、指導員の方が吹いている姿を見ると、あらためて所作の丁寧さに驚きました。しっかりと手を上げていたことや、大きく示すことなどで選手やベンチ、見ている側も納得できるようなそういった所作でした。審判の姿や立ち振る舞いもすごく大事なことなのだなと感じました。

審判経験のない自分でも指導員の方々が一つ一つのことを丁寧に教えていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。

7、最後に

初心者講習会の開催も今年で4回目となりました。昨年の倍近くの人数の27名という参加者で、大変盛り上がった講習会となりました。ミニ連にも協力していただいた関係で、ミニで帯同をしておられる方々の参加が多かったです。驚いたのは、参加者の方々の意欲の高さです。講義やゲーム中の講師の話に熱心に耳を傾け、更には、疑問点等を質問しておられる姿が印象的でした。ゲームを使った実技講習では、全員の方にゲームを吹いて頂きました。普段のゲームでは、審判の判定や審判の動きに着目してゲームを見ることはあまりないので、審判員としての目線でゲームを見たり、経験されたりしたことは大変良かったのではないかと思います。

最後に、お忙しい中にもかかわらず会場を提供・準備をして頂きました倉吉西中学校のチーム関係者の皆様、ゲームに協力して頂きました中部地区の中学校のチーム関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(文責：神田 竜馬)